

熱い心、真の勇気で八王子改革！！

決断と実行

八王子市議会議員

49歳

いとうただゆき

伊藤忠之



ごあいさつ

皆様には今年も益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

また、常日頃から私の政治活動にご理解をいただきましてありがとうございます。

さて、2月24日から3月26日まで令和3年八王子市議会第1回定例会が開かれておりました。市議会は、前議会同様新型コロナウイルス感染に配慮しつつ審議をいたしました。

定例会は冒頭に、補正予算等審議が行われ、続いて令和3年度予算等審議へと運ばれました。僕は今回、予算等審査委員会総括質疑での質問で、『自転車レーン』や『斎場運営』、『青パトの検証』について発言し、それぞれ担当部長に答弁をいただきました。簡単にまとめて裏面にございますのでご覧ください。詳細は今後の八王子市議会HP会議録にございますのでそちらのほうでご確認ください。

会議録ページ⇒<https://www.city.hachioji.tokyo.dbsr.jp/index.php/>

緊急事態宣言は撤回したものの、引き続きコロナ禍の続く現在、市民の方々の生活に対する不安がどこにあるのか考え、しっかりと地方政治のど真ん中で積極的に発言、行動をしてまいりますので変わらぬご指導をお願いします。

八王子市議会議員 伊藤忠之

皆様のご意見・ご要望、心よりお待ちしております。



八王子市議会議員

伊藤忠之事務所

〒192-0374

八王子市中山446

Tel:

(042) 674 - 8869

Fax:

(042) 674 - 7558

E-mail:

tadayuki802@gmail.com

Blog:

<https://ameblo.jp/tadayuki802>

プロフィール 伊藤忠之(49歳)

- ・昭和46年八王子市中山生まれ。
- ・地元中山小・中学校を卒業、私立小松原高等学校卒。
- ・東京コカ・コーラボトリングにてサラリーマン生活を送った後、東花堂(葬儀社)にて経営を学ぶ。
- ・現在、中山在住、母、妻、長女夫婦、次女、孫の7人家族。犬1匹、猫1匹、メダカ3匹、金魚2匹
- ・市議会では：
八王子市議会4期
会派 市民クラブ
常任委員会 総務委員会委員
特別委員会 次世代支援・高齢社会対策特別委員会委員
- その他 奨学審議会委員
- ・趣味 筋トレ(腹筋は特に苦手)
- ・好きな言葉 「今すぐ行動しなければ、10年経っても何もできない」

◎自転車レーン

【問】 南大沢の自転車通行帯に関する記憶では平成21年から現在まで十数年、試験的に設置しこれまでこの自転車走行空間について検証をしてこなかったのは残念であります。そこで、本市における自転車走行空間整備の考え方を伺う。

【答】 ●道路交通部長 平成28年に策定した八王子市自転車利用環境整備計画に基づき、現在、自転車走行空間整備に重要な自転車の適正な走行位置や方向を示すための「ナビマーク」などの整備を進めています。今後は、本計画で示した自転車走行空間ネットワークの実現に向け、現在行っているシェアサイクル実証実験から得られるデータを分析し、車道幅員などの道路状況に合わせた適切な手法を選定し、整備を行っていきたい。

【問】 本市は南大沢駅周辺の自転車走行空間の利用状況を把握をしているのか。南大沢駅周辺の自転車走行空間が整備されてから10年以上が経過しており利用実態は場所によってばらつきがみられる。土日には、三井アウトレットパークの駐車場空き待ちの車が車道で渋滞している状況であるが、自転車走行空間の利用者は見受けられない。こうした実態にあった自転車走行空間の運用方法や根本的な見直しが必要な時期であると考えますが本市の考えを伺いたい。

【答】 ●道路交通部長・都市計画部長 南大沢駅周辺の自転車走行空間の利用状況については、場所によってかなりばらつきがあることは認識している。

南大沢駅周辺については、現在の利用実態を踏まえ、歩行者、自転車、自動車が安全で快適に利用できる交通環境のあり方について、市の関係所管をはじめ、交通管理者や周辺の施設管理者などの関係者とともに議論していきます。

◎斎場運営

【問】 都内火葬場の火葬状況について年間を通して大体1週間待ちと聞いているが、本市斎場の火葬待ちの状況はどうか、霊安室の状況はどうか伺う。

【答】 ●市民部長 火葬状況について、火葬繁忙期と言われる1月2月頃は最長で1週間近くの火葬待ちがあるが、通常期については火葬待ちはほぼない状況である。霊安室については、繁忙期においても長期間満室となる状況にない。

【問】 令和元年度の市民死亡者数は約5500人だが、ある葬祭業界専門誌の推計によると2040年には約7600人でピークを迎えるとされている。単純計算でも1.4倍程度になるが現在の8炉の火葬炉で対応できるのか。

【答】 ●市民部長 将来の火葬需要に増加に備えて火葬炉設備の改修を実施しており令和3年度で全8炉が完了する予定である。8炉の運用において、現在の火葬可能件数1日当たり17件を段階的に増加することで、対応可能と考えている。

【問】 市斎場の利用状況は両式場合わせ93.3%である。年間300日中、279日稼働している施設である。市内葬儀社数社に聞くと市内の民間式場の利用率は概ね30~50%であると聞いています。利用者は、使用料の低価格や市営という安心感から本市斎場を利用されていると考える。市民に非常に利用されている斎場・式場を増設すべきと思うが考えを聞きたい。

【答】 ●市民部長 近年、葬儀の形態が多様化しているなかで、利用ニーズに合わせた民間式場が多く立地しており、利用者は葬儀社との調整のうえ形態にあった式場を利用されていると考えている。市斎場の式場の増設については、敷地面積や建屋・駐車場を含めたスペースの関係、また利用状況からも想定はしていない。

【問】 私が本市斎場式場に思うのは建設当初の想定していた利用者層と現在の利用者層の違い。駐車場の数。安置室の使用できる方の限定。など様々な問題が生まれてきている事を考えるとリフォームや増設を今後考えていただきたい。また式場利用率が民間式場の利用率と比べて高いのは、式場が足りていないので待機している方が少なくないのではととれる。待機者に対する施策として民間式場を使用した場合の補助制度を創設し待機者を減らすことを要望する。

毎週月曜日更新。一般質問等の概要のテーマ増やしました。ぜひご覧になってください。

伊藤忠之オフィシャルHP
完成

Tadayuki802

で

検索

